

Cente Technical Information

発行番号	101-0064	Rev	第1版	発行日	2012/08/06
題名	下位Byteが「0x00」のUNICODE文字をフルパスに指定した場合、正しくファイル、ディレクトリ操作が行えない不具合について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente FileSystem Ver6.00～Ver6.01				
影響関数	fopen_uni, move_uni, rename_uni, get_attr_uni, chg_attr_uni, get_tstamp_uni, chg_tstamp_uni, finfo_uni, remove_uni, mkdir_uni, opendir_uni, rmdir_uni				
関連資料	なし				
【現象】 UNICODEのフルパスを指定するAPIにおいて、“ー”(0x4E00)、“言”(0x8a00)のような下位Byteが「0x00」のUNICODE文字を指定すると、以下のいずれかの問題が発生する可能性があります。 ・下位Byteが「0x00」のUNICODE文字の前に、スペース(0x0020)又はドット(0x002E)を指定するとCT_ABN_FILE(-1)エラーが発生します。 ・下位Byteが「0x00」のUNICODE文字の後に、禁止文字の“¥/:*?¥”<> を指定するとエラーを検出することができません。(fopen_uni、mkdir_uniの場合は禁止文字でファイル、ディレクトリを作成してしまいます)					
【原因】 禁止文字のチェックを行うfs_chk_path_sub_uni関数では、UNICODE文字列の終端を「NULL:0x0000」の2Byteで検出する必要がありますが、1Byteで検出していたため、下位Byteが「0x00」のUNICODE文字を指定すると文字列の終端を誤ったタイミングで検出してしまいます。					
【回避方法】 ■運用での回避方法 以下のいずれかの方法により運用で回避することが可能です。 ・S-JIS CODE指定APIを使用する。 ・UNICODE指定APIを使用する場合は下位Byteが「0x00」のUNICODE文字を指定しない。 ・UNICODE指定APIを使用する場合はスペース、ドット、禁止文字を指定しない。 ■プログラム修正による回避方法 修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。 以上					